

報道発表資料
令和元年10月30日
北陸地方整備局
東京管区気象台
長野地方気象台

台風第19号に伴う千曲川洪水予報発表基準の暫定的な運用の終了について ～10月30日をもって暫定運用を終了します～

台風第19号の影響により千曲川の堤防が決壊した長野県長野市穂保地先において、令和元年10月30日に緊急復旧工事（鋼矢板仮締切堤防）が完了しました。

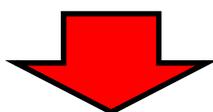
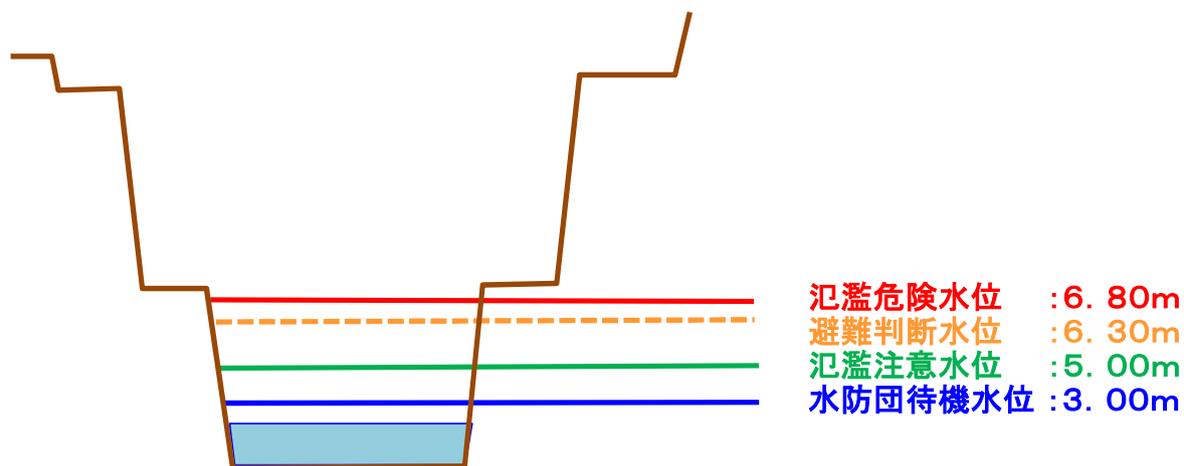
このため、国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所と長野地方気象台が共同で発表している千曲川についての「洪水予報」の発表基準について、立ヶ花観測所において暫定基準による運用を行っておりましたが、令和元年10月30日をもって終了します。

今後も前線や低気圧等の影響により大雨となった時には、河川水位が急に上昇する場合がありますので、雨量や水位等の防災情報に注意してください。

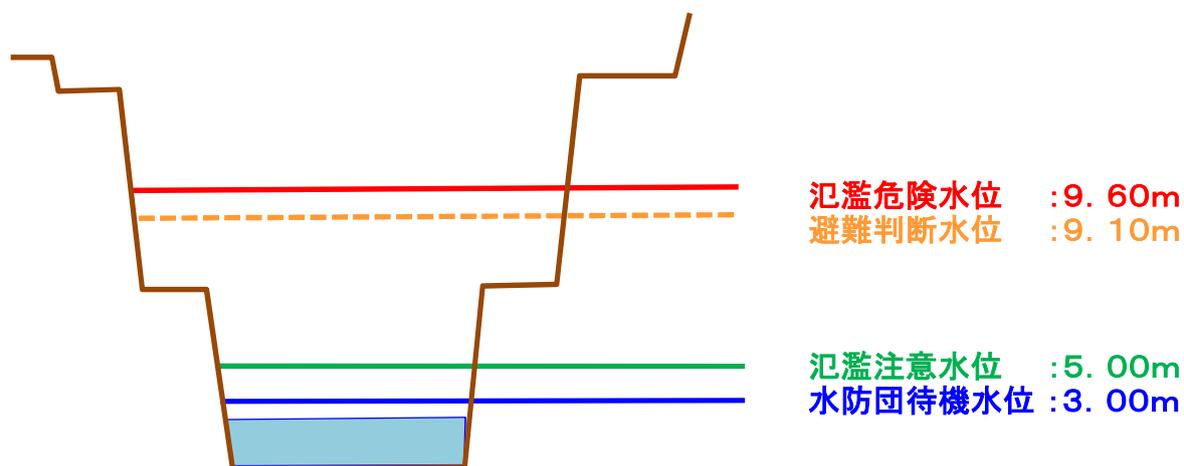
問い合わせ先	
国土交通省 北陸地方整備局	
河川調査官 岡本 弘基	TEL 025-280-8880(内線3513)
長野地方気象台	
防災管理官 藤田 宗一	TEL 026-232-3773

【立ヶ花水位観測所(51.5k)】 (長野県中野市立ヶ花)

暫定基準水位の運用 〔10月18日～10月30日9時00分〕



従来の基準水位の運用 〔10月30日9時00分～〕



水位危険度レベル	水位	求める行動の段階
レベル5	氾濫の発生以降	氾濫水への警戒を求める段階
レベル4	氾濫危険水位から氾濫発生まで	いつ氾濫してもおかしくない状態 避難等の氾濫発生に対する対応を求める段階
レベル3	避難判断水位から氾濫危険水位まで	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を求める段階
レベル2	氾濫注意水位から避難判断水位まで	氾濫の発生に対する注意を求める段階
レベル1	水防団待機水位から氾濫注意水位まで	水防団が体制を整える段階